

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和8年 4月 9日

団体所在地 尾道市向東町 1013-6
団体の名称 NPO 法人むかいしま seeds
職・氏名 代表 栗本綾子
(施設名 みらいのこども舎)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

- ・クッキング・よもぎを積んでよもぎ団子作り
- ・筍掘りとクッキング
- ・春から初夏のわらべうた
- ・畑作業（芋、大豆、苺、玉ねぎ、薬物など）
- ・身近な草花で草木染め(桑のみ、よもぎなど)
- ・防災ルートの山へお散歩
- ・季節の手しごとよもぎオイル作り
- ・梅仕事で梅ジュース作りと梅干し作り
- ・季節のクッキング（筍をつかったメンマ作りとラーメン、畑の新玉ねぎのかき揚げなど）
- ・赤しそジュース作りと梅干し用赤しそ仕込み
- ・地域の洋ランセンターへお散歩
- ・海へお散歩（ひしお海岸）
- ・少し遠出して海あそび（岩子島）

【7月～9月】(夏季)

- ・ハイキング
- ・七夕飾り作り
- ・岩場探検、磯遊び
- ・そうめん流し
- ・水遊び、プール遊び
- ・川遊び、海遊び
- ・生き物探し、セミ捕り
- ・木工
- ・セミ捕り、虫捕り 生き物観察
- ・スイカ割り
- ・夏野菜 収穫・調理
- ・泥だんご作り
- ・砂絵作り
- ・白玉団子作り

【10月～12月】(秋季)

- ・みかん・ネーブル狩り
- ・芋掘り（焼き芋）
- ・ピクニック
- ・干し柿作り
- ・クリスマスツリー作成 飾り作り
- ・麦まき
- ・ヒンメリ作り
- ・採れたキノコのクッキング
- ・山登り、山探検

【1月～3月】(冬季)

- ・羽子板作り/毎年恒例お餅つき大会/凧作り
- ・ネーブル狩り/みかん狩り
- ・ちからうどん作り・コマ作り
- ・草木染め(サザンカ)
- ・節分オニのお面作り/節分豆まき
- ・フェルトで卒舎、進級小物制作
- ・ビワの葉エキス作り
- ・ひな祭り制作
- ・味噌作り/ピザ作り

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

（写真）



みらいのこども舎シンボルツリーである桑の木。こどもたちは木登りしたり、木陰でお弁当を食べたり、実ができる季節はとって食べたり。それだけではもったいないと、桑のみで絵を描く子がいたり今年度は落ちた桑のみを拾って潰して草木染めをしました。お酢を入れると化学反応で色が鮮やかに。こどもたちは魔法がかかった！と喜んでいました。火起こししてお湯を沸かし、布と毛糸と入れてそめていきます。毛糸染めは玉の状態からペアを見つけて歌を歌いながら毛糸を束ねていくのですが、異年齢での交流の風物詩なっていて仲間と楽しそうに毛糸を束ねていきました。染め上がりの色と色止めのミョウバンを入れてからの色変化など、キラキラした目で「こんな色になるんだね！」と喜びを味わい、自然からの贈り物として桑からの余す所なき楽しみ方の体験を紡ぐことができました。

【7月～9月】

（写真）



近くの岩子島の海岸に集合し、活動をしました。事前に何度か下見に来て、当日も海の中、近く、砂浜に分かれ、子どもたちの安全確保をしながら、思いのままに過ごしました。牡蠣のある場所や物陰には注意をして。人数確認も頻繁に。

水に慣れた子はバシャバシャ、小さな子は恐る恐るですが、みんな水との関係性を少しずつ構築して、個々のペースで親しんでいました。できるだけ子供たちのペースに合わせつつ、保育者のキャパを超えるような場面では丁寧に説明して、危険を未然に防ぐよう努めました。子どもたちも全て安全もしくは危険ということではなくケースバイケースで自分のリスク管理ができるよう、楽しみながら体感していました。

最後にはスイカ割りもして、小さな子からドキドキしながら大盛り上がり。美味しく食べました。

【10月～12月】

(写真)



今日はみんなで山の麓に集合し、山歩き。速い子を追いかけつつ、ゆっくりな子にもしっかり寄り添い、道中にもいろんな発見がありました。みんなで少し斜面を登り、大きな岩にも行きたい子が登り、絶景を楽しみました。そのあと一人一人の能力やペースに合わせて、グループ分けをして、もっと登る子とゆっくり下る子に分かれ、大きい子のグループは山頂まで行き、その後東屋で合流し、昼食を食べました。午後はみんなで同じ道を下りて、解散場所のマリンユースセンターに。初めて山に行った子は最初少し怖々でしたが、山を降りる頃にはみんな充実の顔でした。不安視された歩く距離も子供の能力と気持ちで柔軟に対応し、遅れる子にも保育者が付き添い、無事に1日を過ごしました。

【1月～3月】

(写真)



散歩で2チームに分かれたある日。山を通っていくグループは山の中腹で盛り上がり、恐竜っぽい木を見つけたり、かくれんぼしたり、最後は「きょうりゅうひろば」と命名。翌日には、朝から[きょうりゅうひろば]を案内したい！とそわそわすることもありました。親子組の家族が集まったら、大張り切りでみんなをひろばへ案内していました。初めて行った子や親子組さんたちに、こうやって遊んだらいいよ、とかここは危ないよ、など丁寧に説明して、自分で発見して名前もつけたお気に入りの場所だということに、なんだか誇らしげな姿が印象的でした。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
- ・ 自然保育イベント「こびとのおうちえん」大下さんを講師に講演会と保育者研修（5月）
- ・ 資質向上研修参加（9月）
- ・ 安全管理講習参加（11月）
- ・ 地域との関わりについて
- ・ 地域の方の田んぼ体験稲刈り体験(6月 11月)
- ・ 木工創作の独自の知識がある方に来ていただき子どもたちと木工創作体験・遊具作りなど（毎月）
- ・ 地域の方の柑橘畑に柑橘狩りに行かせてもらう（10月～2月計3回）
- ・ 外部の親子さんと内部の親子組が交流する機会を作る『わかばの会』を開催 1学期、2学期毎週月曜日開催）
- ・ オープンスクール毎月開催
- ・ 地域の洋ランセンターという場所で昆虫に詳しい方と交流（月一くらいかもっと）
- ・ 地域の方のお庭先をお借りしてお弁当など食べたりスイカ割りさせてもらったり（季節毎）
- ・ 地域の方に柿をもらい干し柿作り（11月）
- ・ 保護者との関わりについて
- ・ 保護者ボランティアと一緒に昼食作り(週一回)
- ・ 畑の世話を一緒にしてもらう（随時）
- ・ 夏休み前の施設の掃除や整備のお手伝い（7月後半）
- ・ 保育スタッフ主催の茶話会を開催し交流（年間7回 1学期 2学期開催）
- ・ 保育時間内で親子組はシェア会の時間を持ち交流（毎週月曜週1回）
- ・ 個人面談の時間を作り子どもの成長を伝える（7月と12月）
- ・ 活動後 SNS で活動報告を写真と共にアップする（毎日）
- ・ 毎年恒例の『新春餅つき大会』を開催一緒に餅つきをして汁物など作り一緒に食べる（1月）
- ・ 『秋の親子ピクニック』を開催し親子と保育メンバーと交流する。今年は親子で因島への山登りを企画（11月）
- ・ 毎年恒例のお味噌作り一親子で参加可能外部参加も可能で開催（3月）
- ・ 保護者主催『はらっぱマルシェ』開催（7月）
- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	https://www.miraino-kodomosha.com	(ホームページ)
	https://www.instagram.com/miraino.kodomosha/	(インスタグラム)